

I. 私たちはキリストの平安に、私たちの心の中で裁定させる必要があります:

コロサイ 3:15 そして、キリストの平安に、あなたがたの心を裁定させなさい。この平安のためにあなたがたも、一つからだの中で召されたのです。そして感謝にあふれていなさい。

エペソ 2:15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、

A) 「裁定する」というギリシャ語はまた、「審判する、つかさどる、あらゆる事の支配者、決定者としての位に就く」とも訳すことができます。キリストの裁定する平安は、すべての人に対する私たちの不満を解決します。

B) 私たちはしばしば、内側に三当事者がいることに気づきます。それは積極的な当事者、消極的な当事者、中立的な当事者です。このゆえに、内側の裁定が、私たちの内側の論争を解決する必要があります:

① 私たちは、私たちの存在の内側の異なる当事者が論争し、口論していると感じるときはいつも、キリストのつかさどる平安に地位を与え、新しい人の一であるこの平安に、私たちの内側を支配させて、最終的な言葉を語っていただく必要があります。

② 私たちは自分の意見、観念をわきに置き、内住する審判者の言葉に聞き従う必要があります。

C) もし私たちがキリストの平安に私たちの心の中で裁定させるなら、この平安は私たちの間のすべての論争を解決します。そして私たちは垂直には神と平安を持ち、水平には聖徒たちと平安を持ちます:

① キリストの平安が裁定することを通して、私たちの問題は解決し、聖徒たちとの摩擦は消えてしまいます。そして召会生活は甘さの中に保たれ、新しい人は実際に維持されます。② キリストの平安が裁定するとは、キリストが私たちの内側で働いて、私たちに対して彼の支配を行使し、最後の言葉を語り、最終判断を下すことです。③ もし私たちが、王となっているキリストの平安の支配の下にとどまっているなら、人を怒らせたり、損なったりすることはありません。そうではなく、主の恵みによって、また彼の平安をもって、私たちは人に命を供給します。④ この平安はすべての信者を一に結ぶべきであり、結合するきずなとなるべきです。

エペソ 4:3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。

II. 私たちは、キリストの言を私たちの内に豊かに住ませる必要があります:

コロサイ 3:16 知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ、詩と詩歌と霊の歌をもつて、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。

A) キリストの平安が私たちの中で裁定して、私たちが「一」と調和とに満ちた状況に保つとき、私たちは神の語る場所、神の託宣となります。啓 2:7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。① 神の語りかけは一を要求します。分裂は、神の語りかけを減少させ、完全に停止させさせます。

レビ 1:1 さて、エホバは集会の天幕の中からモーセを呼んで、彼に語って言われた、

② 神の語りかけには一が必要条件であるので、私たちはキリストの平安に私たちの心の中で裁定していただく必要があります。

③ キリストの言が私たちの内に豊かに住むことが意味するのは、キリストの言が私たちの中で十分な地位を得て、私たちの全存在に浸透し飽和するということです。私たちがキリストの言に私たちの中へと入っていただき、私たちの中に住んでいただき、私たちの中で勝利を得ていただき、私たちの観念、意見、哲学を置き換えていただくことは、極めて重要です。

詩 119:130 あなたの言葉が開かれると光を放ち、単純な者たちに理解力を与えます。

B) 私たちは、主の言葉に私たちの中で第一位を得ていただく必要があります。それは、私たちの内側で活動して、キリストの豊富を私たちの存在の中へと供給する神の言葉の機能を、私たちが経験するためです:

① 神の言葉は、私たちを照らし、養い、水を注いで私たちの渇きをいやします。② 神の言葉は、私たちを強め、洗い、建造します。

箴 4:20 わが子よ、私の言葉をよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。21 それをあなたの目から離さず、あなたの心の中に保て。

22 まことに、それは見いだす者には命となり、全身のいやしとなる。

③ 神の言葉は、私たちが聖別することによって、私たちが完成し、完全にし、成就します。

C) 神の言葉を私たちに住ませることによって、私たちは正しい人、すなわち神の属性の実際であるキリストで満たされた神・人になることができます。コロサイ 3:17 また、あなたがたは何をするにしても、言や行ないにおいて、すべての事を主イエスの御名の中で行ない、彼を通して父なる神に感謝をささげなさい。

III. 私たちはうまずたゆまず祈る必要があります: コロサイ 4:2 うまずたゆまず祈り、感謝しつつ祈りの中で目を覚ましていなさい。

A) 私たちは十分な時間を祈りに費やす必要があります。それによって私たちは、すべてを含む地としてのキリストの豊富をさらに吸収することができます。コロサイ 2:6 それで、あなたがたはキリスト、主なるイエスを受け入れたのですから、7 すでに彼の中に根ざしており、そして建造されながら、また教えられたように信仰において堅固にされながら、感謝にあふれて、彼の中で歩きなさい。

① 私たちは時間を費やして主を吸収し、明確で徹底的な方法で彼と接触する必要があります。

② 朝に神と出会うことは、その日の早朝に彼と出会うことだけではありません。それは、光に満ちた状況の中で神と出会うことでもあります。私たちは独りで神に行くべきであって、どのような人、事、物にも私たちがをそらせたり、占有させたりすべきではありません。

箴 4:18 しかし、義人の路は夜明けの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。

③ 私たちが祈って、恵みの御座に進み出るとき、恵みが私たちの中で川となって流れ、私たちが供給します。

B) 私たちは神の側に立ってサタンに対して戦うために、うまずたゆまず祈る必要があります: ① 私たちは神の側に付く者たちとして、墮落した全宇宙が私たちに敵対しており、特に私たちの祈りに敵対していることを見いだします。祈りに抵抗するものは、私たちの外側にあるだけでなく、私たちの内側にさえあります。② 祈ることは、墮落した宇宙にある潮流、傾向に逆らうことです。

C) 私たちは祈りのために特定の時間を取っておく必要があります。祈りが私たちの最も重要な事であり、何もかも祈りを妨げるべきではないというのが、私たちの態度であるべきです。

D) 私たちは絶えず私たちの霊を活用することによって、祈りの雰囲気の中にとどまる必要があります: ① 私たちは絶えず祈り、うまずたゆまず祈り、自分自身を主と親密に結び付けることに保つ必要があります。1テサロニケ 5:17 絶えず祈りなさい。

② 私たちは最も小さな細かい事さえ、主に尋ねる必要があります。このように行なうことは、うまずたゆまず祈ることであり、またそれによってキリストを生きることです。コロサイ 1:3 私たちは、あなたがたのために常に祈り、神である私たちの主イエス・キリストの御父に感謝しています。9 こういうわけで、私たちもこの事を聞いた日から、あなたがたのために絶えず祈り、そして願っています。どうかあなたがたが、あらゆる霊的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ、

IV. 私たちがうまずたゆまず祈ることを通して、キリストの平安によって支配され、そしてキリストの言を住ませるとき、主は私たちに浸透し、私たちをご自身で置き換えます。ついには私たちの天然の区別はすべて除かれ、私たちは実際において新しい人となります。

1テモテ 2:1 そこで、私は勧めます。何よりもまず、すべての人のために、願いと、祈りと、とりなしと、感謝とをささげなさい。

### 経験①:キリストの平安にあなたの心を裁定させる

私たちは自分の経験を考えるなら、クリスチャンとして、私たちの内側には二当事者、あるいは三当事者がいることを認識するでしょう。…私たちはしばしば、内側に三当事者がいることに気づきます。それは積極的な当事者、消極的な当事者、中立的な当事者です。私たちはクリスチャンとして、救われていない人たちよりも複雑です。私たちは救われる前、サタンの当事者の管理の下にいました。私たちは内側に何の葛藤の感覚もなく、この世的な娯楽や享楽にふけることができました。しかし今や私たちは救われたので、一当事者は一つの事を行なうように私たちを奨励するかもしれませんが、別の当事者は他の事を行なうように奨励するかもしれません。このゆえに、内なる裁定が、私たちの内側の論争を解決する必要があります。私たちは内側の存在で起こる会議をつかさどる誰か、あるいは何かを必要とします。コロサイ人への手紙第3章15節によれば、このつかさどるもの、この裁定者はキリストの平安です。

ある聖徒たちは聖書を愛し、毎日読みます。…彼らは聖書を読みますが、神の言葉は彼らの外側にとどまっています。私たちがキリストの言葉に私たちの中へと入っていただき、私たちの中に住んでいただき、私たちの観念、意見、哲学を置き換えていただくことは極めて重要です。私たちはこう祈る必要があります、「主イエスよ、私は進んで自分の観念を捨てます。私はあなたの言葉に私の中で立場を持っていただきたいのです。私は進んで自分の意見や哲学を忘れます。私はあなたの言葉に私の中で勝利を得ていただきたいのです。私の観念にもう勝利を得させたくありません」。

### 在職青年編

コロサイ3:15 そして、キリストの平安に、あなたがたの心を裁定させなさい。この平安のためにあなたがたも、一つからだの中で召されたのです。そして感謝にあふれていなさい。

イザヤ55:9 まことに、天が地よりも高いように、私の道はあなたがたの道よりも高く、私の考えていることはあなたがたの考えていることよりも高い。  
10 まことに、雨や雪が天から降って、天に戻らず、地を潤し、それに物を生えさせ、芽を出させて、種をまく者に種を与え、食べる者に糧を与える。  
11 そのように、私の口から出る私の言葉も、むなしく私に帰らない。それは、私が喜びことを成し遂げ、私が送った事を榮えさせる。

クリスチャンであるあなたの内側には、三つの当事者がいて、ある意味で異邦人より複雑で、葛藤に満ちています。異邦人の内側には古い人とサタンしかいないので、墮落していくことが自然であり、墮落に対する抵抗はほとんどありません。しかし、あなたの中には主の命が入って来たので、あなたの中には神、サタン、あなた自身がいます。あなたの中のキリストはあなたを墮落から救い、聖別しようとしているので、実はあなたの中に葛藤があることは素晴らしいことであり、救いなのです。

あなたはキリストの平安にあなたの心を裁定させるべきです。ビジネス・ライフにおいて、あなたは前進すべきか、あるいは撤退すべきか、悩むことがあると思います。そのような時、様々な実際の状況を持ち出し検討する必要がありますが、最終的にキリストの平安に最終の言葉を語っていただき、裁定させる必要があります。神の思いは私たちの思いをはるかに超越しており、神の言葉は必ず成就しますので、あなたが自分の観念や意見を脇にやり、キリストの平安に裁定させることは理にかなっています。キリストの平安がある時、それはGoサインであり、平安が無い時、それはStopサインです。このようにすれば、あなたのビジネス・ライフは主の中ですます祝福されるでしょう。

### 経験②:自分の霊を活用し御言葉を祈り読みして、隠れたところで主との個人的な交わりを持って、主ご自身に触れる

私たちの必要は、時間を費やして神を吸収することです。私たちは日ごとに時間を費やして食物を食べるように、日ごとに時間を費やして主を吸収し、時間を費やしてキリストの豊富を消化すべきです。私たちの主との接触は、急ぐべきではありません。もし私たちが急ぐなら、彼の豊富をあまり吸収することはできません。私たちは十分な時間を祈りに費やす必要があります。これによって私たちは、神の豊富をさらに多く吸収することができます。私たちの今日の必要はその霊で満たされ、浸透されることであるので、その霊を経験するために何を行なう必要があるかを考察しなければなりません。…私たちが行なわなければならない第一の事柄は、主に行くことです。このことを行なうために、私たちは明確で徹底的な方法でどのように主と接触するかを学ぶ必要があります。私が心配しているのは、多くの信者たちが何年も祈っており、多くの時間を費やして御言葉を読んでいるのに、決して明確で徹底的な方法で主と接触したことがないということです。

私たちの必要は、祈りの中でこの生けるパースンと接触することです。そして私たちは、祈りの雰囲気の中にとどまる必要があります。こうするなら、私たちは自然にキリストを生きます。さらに、私たちは自分自身を調整し修正しようとすることなく、文化から解放されます。キリスト以外のすべては消え去ります。キリストは、私たちが必要とするものすべてです。すなわち彼は命、光、恵み、慰め、健康、強さ、へりくだり、忍耐、親切、柔和です。私たちが主を享受し、彼を経験するとき、彼は私たちの命であり、私たちは彼を生きます。何とすばらしいことでしょう！これが**ピリピ人への手紙第1章21節**でパウロの言っている、「私にとって生きることはキリストであり」の意味することです。

### 中高生編

ルカ8:13 岩の上に落ちたものとは、聞くと喜んで御言を受け入れる人たちである。これらの人たちには根がないので、しばらくは信じているが、試験の時には退いてしまう。1ヨハネ2:14 若者たちよ、私があなたがたに書き送ったのは、あなたがたが強くあり、神の言があなたがたの中に住んでおり、あなたがたが邪悪な者に打ち勝ったからです。マタイ6:6 あなたは祈るとき、自分の密室に入り、戸を閉めて、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れて見ておられるあなたの父は、あなたに報いてくださる。

あなたは中高生の時から御言葉の中の主に触れること、祈りの中で主にいき主に触れることを学んでください。御言葉を聞いて、喜んで受け入れても、根が無ければすぐに枯れてしまいます。根は隠れた部分ですが、根は土壌から水分と栄養分を吸収し、植物を成長させます。主の御言葉には力がありますが、あなたが主の御言葉の中で主ご自身に触れなければ、御言葉の力にあずかることはできません。あなたは次のことを訓練してください。

- i. **毎朝復興**: 毎朝復興されるために、あなたは必ず御言葉の中の霊である主ご自身に触れなければなりません。毎朝復興の重点は、祈り読みや祈りの中で主に触れることです。主は生ける水であり、神聖な炎であり、命のパンです。主に触れればあなたの渇きはいやされ、あなたの霊は燃やされ、あなたの内側の存在は養われます。ただ聖書を読めば自動的に養われるということではありません。あなたは主の御名を呼び求め、復興されたい願いをもち、自分の霊を活用して力強く主の御言葉を祈り読みしてください。祈り読みの時に重要なことは、a) 自分の霊を活用して主の御名を呼び求めること、b) 主の御言葉を短く繰り返して読むこと、c) 御言葉を応用して祈ること、を混ぜ合わせることです。この時あまり思いを使いすぎはいけません(全く思いを使わないということではありません)。むしろ霊を活用し、霊であるキリストに触れてください。このようにして毎朝、主に来て主に触れることを学んでください。
- ii. **隠れたところで主と個人的で親密な愛情に満ちた交わりを持つ**: 祈る時に隠れたところで主と親密な交わりを持つてください。このような祈りはあなたにとって根となります。根は隠れていますが、それが無ければすぐにあなたのクリスチャン生活は枯れてしまいます。根は見えないので、それがどうかは一目見て分かりません。しかし根が無ければ枯れてしまいますので、しばらくすると根があるかどうかは判明します。このような個人的な祈りで、あなたは人に言えないことや隠れた罪を持ち出して主と本音で交わることができます。新約聖書によると、根が無いのは岩地であるからです。岩地とは、表面は土ですが、掘るとすぐ岩になるところです。この岩地は隠れた罪を示します。あなたは次のように祈ってください、「主イエスよ、私は正直にあなたの御前に出ます。装ったり、隠したりせずにありのままの今の私の状態であなたの前に出ます。私には隠れた罪、その中には自分だけが知っている罪、あるいは自分ですらよく分かっていない隠れた邪悪な動機や罪があります。私は多くの時、この隠れた罪を容認し、あなたから隠そうとしています。主イエスよ、私はこのような腐敗し、複雑な状態にあります。自分自身から見ると、私は救いようがありません。しかし、あなたは私を救うことができると信じます。私の罪を告白します。私を赦して下さい。私を成長させ、あなたの手役に立つ者に造り変えて下さい」。